



挑戦するからこそ、
得られるものが
ここにある。

2017

夏期 Summer special training camp 特訓合宿

対象

- 中学受験生 (小5~6)
- 高校受験生 (中3)
- 大学受験生 (高1~3・高卒)





夢に向けて

さあ、挑戦しよう。

挑戦するからこそ

得られるものがある。

夏は「受験の天王山」と言われます。

まとまった時間を確保できる夏は、勉強の量についても、質についても、今までの自分の「限界」を破り、大きく成長するチャンスです。

その夏のスタートダッシュをするために、TOMASの夏期特訓合宿があります。

1日約12時間、集中して勉強に取り組むからこそ、8月以降の受験勉強に勢いをつけることができます。

受験生にとって大切な夏を、より有意義なものにするために、

ぜひTOMASの合宿にご参加ください。

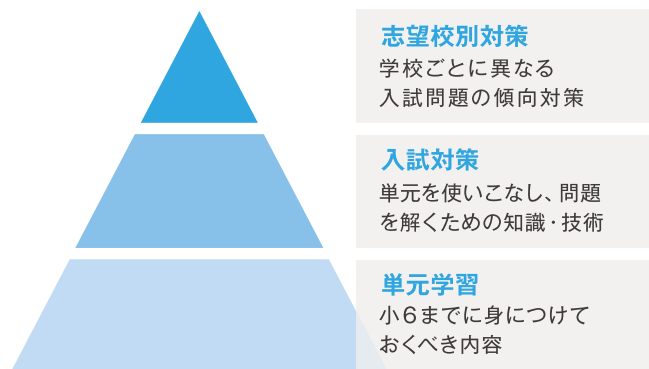
 **TOMAS**

ここまでやる。 だから試験に強くなる。

夢の志望校合格までの3ステップ

受験勉強では、まず基礎となる学習内容を一通り身につける「単元学習」をしたうえで、学んだ知識・技術をさまざまな問題で使えるよう訓練する「入試対策」を行います。そして最後に、「志望校別対策」を行うのが定石です。一般的なカリキュラム(下表)では、科目にもよりますが、小5の春から本格的な「単元学習」から「入試対策」にステップアップします。小5になると授業進度が速くなり、ボリュームも増えるのはこのためです。さらに小6になると、身につけるべきことがますます増えていきます。

このため、習ったことを何度もすらすらできるまで反復し、確実に定着させられるかどうか、受験勉強における大きな課題となります。



	国語	算数	社会	理科
小4前期	段落・細部の読み取り 漢字・知識	整数の計算 平面図形 特殊算 など	日本地理 地図の見方 さまざまな地方のくらし	生きものの観察 季節の生きもの など
小4後期	段落のまとめや関係の 読み取り 漢字・知識	小数の計算 概数 割合 速さ 平面図形 立体図形 など	農林水産業・工業 貿易・交通 各地方の特色	音・光 水や空気の性質 など
春合宿 小5前期	文章全体の読み取り 漢字・知識	数の性質 分数の計算 速さ 円・扇形・複合図形 など	日本地理のまとめ 日本の歴史 古代(縄文～平安) 中世(鎌倉～安土桃山)	植物のつくりとはたらき 天文・地形 気象・火山・地震 など
夏合宿 小5後期	テーマの読み取り 漢字・知識	比と比の利用 割合と比 速さと比 図形と比 など	日本の歴史 近世(江戸) 近現代(明治～)	水溶液の性質 気体の性質 力のつり合い など
春合宿 小6前期	入試対策	入試対策	政治・経済 入試対策	電流のはたらき など 入試対策
夏合宿 冬合宿 小6後期	志望校対策	志望校対策	志望校対策	志望校対策

合宿だからできること

1 重要単元に特化した反復トレーニング

TOMASでは年に3回の合宿を実施し、それぞれの時期において特に重要な単元に絞ってその定着を図ります。

小5夏の合宿では、分数の計算に特化し、計算問題での得点力アップと、これからの単元学習を効率的に進められるようにします。一方、小6夏の合宿では、入試で最も狙われる歴史分野と物理分野に絞って9月以降の模試での得点力アップを狙います。合宿後に行われた模試で偏差値が20以上上がった生徒もいました。

		春		夏		冬	
小5	算数特訓	整数・小数の計算 平面図形		算数特訓	数の性質 分数の計算 割合		理科 理科計算基礎 植物まとめ
	理社特訓	理科	水溶液・ 気体の性質	理社特訓	理科	てこ・ばね・輪軸・ 滑車	社会 地理総合
小6	理社特訓	社会	旧石器時代から安土 桃山時代までの歴史	理社特訓	社会	江戸時代から 現代までの歴史	理科 入試直前 時事予想問題
	理社特訓	理科	旧石器時代から安土 桃山時代までの歴史	理社特訓	社会	江戸時代から 現代までの歴史	社会 入試直前 時事予想問題

▲合宿の年間カリキュラム

2 目に見えるライバルとの競い合い

合宿では、何度も反復トレーニングを繰り返しながら、お互いに得点を競い合っています。志望校が同じ仲間と競い合ったり、同じクラスの仲間と競い合ったりしながら、切磋琢磨をしています。

ともに学ぶ仲間から刺激を受けたり、自分の得点の伸びを実感したりする体験は、これからの受験勉強に必ず役立つはずです。

〈参加者の声〉

「自分はやっている方だと思っていたけど、合宿でもっとやっている人を見て、自分はまだまだだと思った。」

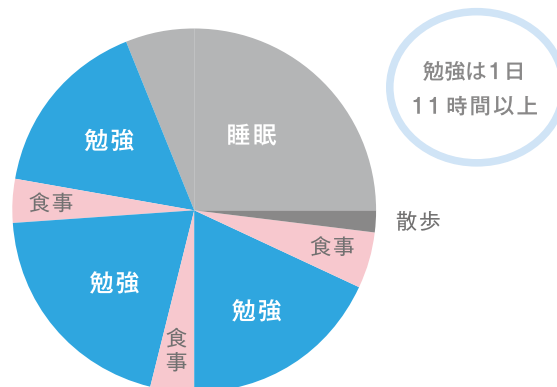
「みんなの計算のスピードが早くてびっくりした。教室に戻ったら計算を頑張る。」

「合宿中、反復練習をした結果、全ての確認テストで満点が取れた。」

3 集中力と勉強の体力を鍛える

小5でも、受験生なら平日に3時間以上勉強してあたりまえ、小6になれば5時間以上勉強するのもあたりまえになっています。ただし、それに集中力が伴っていないければ意味はありません。

合宿では、分単位のスケジュールで1日に11時間以上勉強させることで、わずかな時間も無駄にしない集中力と、勉強の体力を鍛えます。この濃密なスケジュールを乗り越えた受験生は、同じ3時間の勉強でも、合宿前よりずっと楽に感じるはずです。



▲合宿における一日のスケジュール

小5 算数集中特訓

算数の成績を左右する計算力、
分数の計算の有効活用で
計算スピードアップ!!

Q 分数の計算の有効活用ってなに？

A 分数化することで計算のスピードと精度を高めます。

$$2.8 \times 0.75 \div 0.875 = \square$$

この計算をするのにどれだけの時間がかかりますか？小数のまま計算をするとかかなりの時間がかかると思いますが、分数で計算をすれば10秒とかかりません。この時間の差がやがて大きな差につながります。

解答例： $\frac{28}{10} \times \frac{3}{4} \times \frac{8^4}{7} = 2\frac{2}{5}$

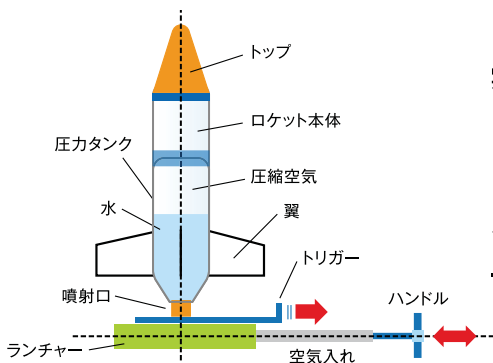
Q 合宿中は算数しかやらないのですか？

A 漢字・理社の基礎知識を毎日チェックします。

事前課題の確認テストを合宿中毎日実施します。そうすることによって基礎知識の定着をはかり、やれば得点が日々あがっていくことを体感させていきます。

特別講座 理科実験教室

ペットボトルロケットを飛ばそう!!



実際にペットボトルロケットを飛ばして、どのような仕組みになっているのかを一緒に考えよう。

事前課題

- 漢字合格マスター第五巻の巻(全範囲)



- 理社課題
植物と昆虫、山地、河川、平野など
※教室の担当者からお渡しします。

主な学習内容

- 分数
分数の計算、逆算、計算の工夫
- 割合
百分率、歩合、売買、食塩水など

クラス分け

算数の学力に応じたクラス分けを行います。7/7(金)までに「クラス分けテスト」をお通いの教室で受験してください。テスト日程については、教室の担当者より連絡させていただきます。

コース	定員
小5 算数集中特訓コース	約60名

小6

理社集中特訓

理科はてこやばねなどの物理分野、
社会は江戸時代以降の歴史を重点的に。
秋の模試で15点upを目指す！

Q 物理分野に特化するのなぜですか？

A グラフや表の読み取り問題が増えているからです。

近年の入試問題では、インプットした知識をアウトプットすればよいというものではなく、グラフや表、資料などを読み取らせそこから法則性を見つけられるかということが問われます。合宿で集中トレーニングをすることによって注目すべきポイントを伝えます。

Q 歴史の学習内容は？

A 江戸時代から平成時代を扱います。

今年の入試問題で出題された時代ベスト3は「江戸時代、明治時代、終戦以降」でした。ただ単に歴史の事実が問われるだけではなく時事問題としても出題されやすいのがこの時代だからです。そんな最頻出の時代を集中特訓します。

特別講座 理科実験教室

中学入試で頻出の水溶液実験を体感しよう！！

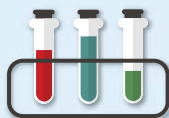
4つの薬で徹底比較！



紫キャベツ



リトマス紙

フェノール
フタレイン溶液

BTB溶液 ほか

わかるかな??? 水溶液クイズ

酸性の物質は
味がする。

★果物に含まれる
など。

唾液は弱い
性。



アルカリ性の物質は
味がする。

★掃除やお菓子のふくらし粉
に使われる など。

中性は酸性でも
アルカリ性でもない。

★水溶液の性質。
飲むと酔っぱらう
などが中性。

事前課題

- 漢字合格マスター漢字の完成(全範囲)



- 理社課題
電流、電磁石、てこ
江戸時代から平成時代までの歴史
※教室の担当者からお渡しします。

主な学習内容

- 理科
てこ、ばね、輪軸
滑車
- 社会
江戸時代から平成時代までの歴史

クラス分け

理社の学力に応じたクラス分けを行います。7/7(金)までに「クラス分けテスト」をお通りの教室で受験してください。テスト日程については、教室の担当者より連絡させていただきます。

コース

小6 理社集中特訓コース

定員

約170名

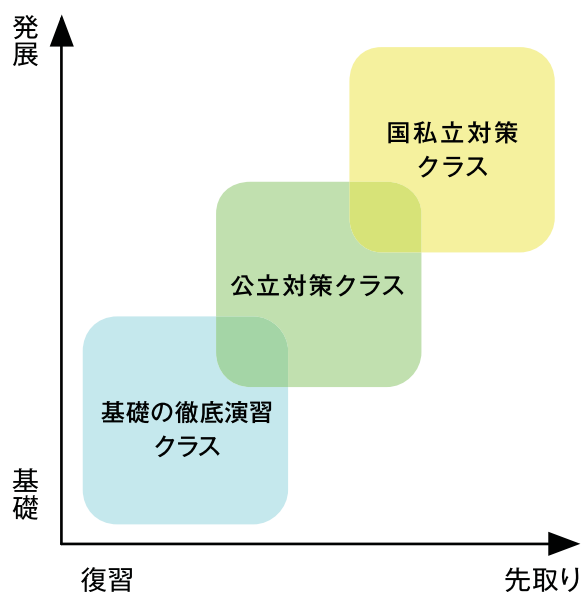
夢の志望校合格に向けて 大幅な成績アップを目指す

志望校・学力に応じたクラス編成

受験生にとって、夏は「受験の天王山」です。ここで殻を破れるかどうか。それによって秋からの学習効率が大きく左右され、受験の結果にも大きな影響を与えます。

この合宿に参加することで、学習時間の面でも、スピードの面でもレベルアップして8月を迎えることができるでしょう。それが、今後の受験勉強にとって大きな自信になります。

その学習効果を高めるため、クラスには大きく分けて「国私立対策クラス」「公立対策クラス」「基礎の徹底演習クラス」の3タイプがあります。数学・英語のそれぞれについて、学力・志望校に応じたクラス分けを行いますので、事前に教室で実施するクラス分けテストを必ず受験してください。



※クラス分けテストの結果によっては、ご希望とは異なるクラスをお勧めする場合があります。

1 国私立対策クラス

開成高校、国立大附属高校、早慶大附属高校をはじめとする国私立難関高校、あるいは都立日比谷・西などの公立最難関高校を志望する受験生のためのクラスです。例年、このクラスから数多くの難関校合格者を輩出しています。

このクラスでは、難関高校の入試問題など、ハイレベルな問題を扱いながら、それらに対応するための知識を身に付けさせます。また、限られた時間内でより多くのことができるよう、スピード・正確さを重視したトレーニングも行います。

「国私立対策クラス」のカリキュラム

数学	英語
整数 式の計算・平方根 2次方程式 2次関数 平面図形・立体図形 難関高校入試問題	不定詞 分詞 関係詞 難関高校入試問題

※「国私立対策クラス」をご希望の方は、なるべく中3の全単元を合宿までに学習しておいてください。

2 公立対策クラス

東京・神奈川・千葉・埼玉の公立高校を志望する受験生のためのクラスです。

このクラスでは、秋以降の定期テストで高得点を取れるように、既習範囲の復習と中3範囲の先取り学習と、標準レベルの問題演習を行います。

そのうえで、公立高校入試問題レベルの問題演習を繰り返し行い、入試本番で高得点を取るためのトレーニングを行います。

「公立対策クラス」のカリキュラム

数学	英語
文字式・方程式	助動詞
連立方程式	不定詞
式の展開・因数分解	比較
平方根	受動態
2次方程式	現在完了
公立高校入試問題	公立高校入試問題

3 基礎の徹底演習クラス

中1・中2範囲の基礎から徹底して復習をしたい受験生ためのクラスです。

このクラスでは、最重要単元に絞り、基礎レベルの問題演習とその解説を反復して基礎固めを行い、得点力アップを図ります。この合宿で集中的に復習・演習をすることで、8月以降の学習がより効果的に進められるようにします。

「基礎の徹底演習クラス」のカリキュラム

数学	英語
正負の数	be動詞・一般動詞
文字式・1次方程式	進行形
連立方程式	過去形・未来形
式の展開・因数分解	不定詞・動名詞
平方根	比較
	受動態

基礎演習

学習効率を飛躍的にアップさせるために、全クラス共通の基礎演習を毎日実施します。

数学では単純計算のスピードを競う「超基礎計算」と小4～中3レベルの計算力を試す昇級式の「数学検定」を実施します。

一方、英語では語彙量を試す「英単語実力テスト」と、文法単元別の「英文法テスト」を毎日実施して定着を図ります。

このような「誰にでもできること」を、誰にも負けないレベルに鍛えるだけでも、成績の伸びが大きく変わります。



中3

英数集中特訓

「やればできる」からこそ
できるまでやれば
得点は必ず伸びていく

Q クラスはどのように決めるのですか？

A 志望校と事前に実施するクラス分けテストの結果を考慮してクラス分けを行います。

お申し込みの際にご希望のクラスを選択したうえで、7/7(金)までに教室で実施するクラス分けテストを必ず受験してください。志望校とクラス分けテストの結果を考慮して、数学のクラス、英語のクラスがそれぞれ決まります。

ただし、クラス分けテストの結果によっては、ご希望のクラスでは授業内容が簡単すぎたり、難しすぎたりすると思われるケースもあります。その場合にはお申し込みとは異なるクラスに設定させて頂く場合もありますのであらかじめご了承ください。たとえば、数学と英語で成績に大きな差がある受験生の場合では、得意な数学は「国私立対策クラス」、苦手な英語は「基礎の徹底演習クラス」といったクラス構成とさせて頂く場合があります。

Q 難関高校を目指しているのですが、合宿に参加するメリットは何ですか？

A ① ライバルたちと切磋琢磨できます。
② いろいろな考え方を学ぶことができます。

合宿では、同じように難関高校を目指すライバルたちが全校から集まります。知識・アイデア・スピードなどを競い合いながら切磋琢磨することで、昨年参加した生徒たちからも「刺激になった」「本気になれた」「自分の課題が明確になった」という声をたくさんいただいています。

特に「国私立対策クラス」では、最難関高校で出題されるハイレベルな問題を扱います。自分の考えた解法・解答について生徒どうしで話し合ったり、教え合ったりしながら、どういう解法・解答がより効果的なのかを考えたり、競い合ったりもしています。そうすることで、同じ問題であってもさまざまな視点・考え方があることを身に付けることができるようになります。

クラス分けテスト 範囲

教科	範囲
数学	中2までの全範囲 式の展開・因数分解 平方根 方程式(2次方程式を含む) 2次関数
英語	中2までの全範囲 受動態 現在完了 第5文型の文 不定詞を含む構文

合宿参加者の主な合格校(2017年度入試)

- 開成高等学校
- 都立日比谷高等学校
- 慶應義塾高等学校
- 早稲田大学高等学院
- 早稲田大学本庄高等学院
- 豊島岡女子学園高等学校
- 国際基督教大学高等学校
- 東京工業大学附属科学技術高等学校
- 桐朋高等学校
- 本郷高等学校
- 川越東高等学校
- 桐蔭学園高等学校
- 立教新座高等学校
- 明治大学附属中野高等学校
- 中央大学附属高等学校
- 中央大学高等学校

ほか多数

Q なぜ「基礎演習」をやるのですか？

A 「あたりまえのこと」を速く正確にできるようにすることが、成績アップの条件だからです。

成績が伸びる生徒と伸び悩む生徒の差は、たとえば数学では単純な計算力、英語では単語力といった「基礎」のスピード・定着度にあります。地道なトレーニングが必要なことから、単に「できる」だけで満足せず、「スラスラできる」まで鍛えているかどうか、成績の差を生むのです。5秒あればできることを1秒でできるようにすれば、学習効率は5倍になります。この差が、非常に大きいのです。

そこで合宿では、「基礎演習」として次のテストを全クラス共通で毎日実施、スピード・正確さのレベルアップを図っています。

超基礎計算 2桁の四則計算を3分間で何問解けるのかを競い合います。合宿中に繰り返し演習をすることで、多くの生徒が、初回と比べて平均1.6倍程度にスコアを伸ばしています。

数学検定 分野別の計算テストです。制限時間内で合格点をとれたら、次の級に進みます。級によって正負の数の四則計算から2次方程式など出題範囲が異なります。

英単語テスト A(中2レベル)、B(公立高校入試レベル)、C(私立難関レベル)の3タイプがあります。それぞれのレベルにあったテストで高得点を目指して反復演習をします。

Q 合宿に参加した方が成績は伸びますか？

A 「合宿がきっかけで伸びた」という声をたくさんいただいています。

確かに、わずか6泊7日の合宿ですから、合宿期間だけで飛躍的に成績が上がるということではないかもしれませんが、この合宿に参加したことがきっかけに、成績が上がるようになったという声をたくさんいただいています。

たとえば、計算力や英単語といった、「基礎」の重要性に気づけたという声をよくいただきます。合宿では全クラスで「基礎演習」に力を入れています。計算力や英単語力といった「基礎」が成績と強い相関を持っていることを実感するからでしょう。また、その「基礎」は短期間でも鍛えられますし、それによって成績は伸びやすくなります。

また、合宿から帰った後も長時間の勉強ができるようになったという受験生も大勢います。合宿では1日に12時間以上勉強します。最初はもちろん大変ですが、それに慣れてしまうと、それまではほとんど自習室を使わなかったのに、8月以降は時間がある限りずっと自習できるようになったという受験生が多いのです。

そのような、合宿をきっかけとした学習面の変化・成長が、志望校の合格につながります。秋の模試で偏差値が10～15もアップしたり、過去問演習の際に役立ったり、何より志望校の合格につながったという体験談が数多く寄せられています。

超基礎計算の目標スコア

超基礎計算でのスコアは数学の成績推移と相関関係があります。合宿では、下表のスコアを成績アップのための目標として掲げています。

小3レベルの計算ですが、ここでつまずいている受験生は非常に多いのです。このスコアを伸ばすだけでも、日常の学習効率が大幅にアップします。また、テストなどでも時間に余裕ができます。

	例	目標スコア
足し算	65+78	150点/3分
引き算	92-48	150点/3分
掛け算	62×9	120点/3分
割り算	78÷4	120点/3分

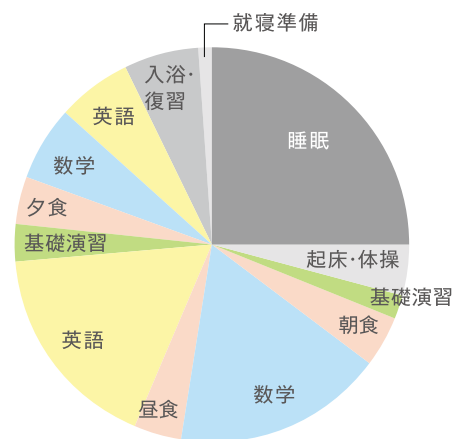
高校受験で求められる英単語力

公立高校を目指す場合と私立難関高校を目指す場合では、求められる英単語力が異なります。

特に私立難関高校の入試では、英単語力だけ見れば、大学入試の中堅私立レベルと同等の実力が必要です。

志望レベル	語彙数
私立難関	2700～3200語
公立	2000～2500語

合宿における一日のスケジュール



コース	定員
中3 英数集中特訓コース	約100名

入試に役立つ実戦的な英語を短期集中トレーニング

受験生は夏が勝負

夏をどう過ごすか。これによってその後の成績は大きく変わります。

難関大学を目指す受験生であれば、英単語・文法・語法・構文の知識を磨いた上で、読解・英作文の練習をしておくことが大切です。

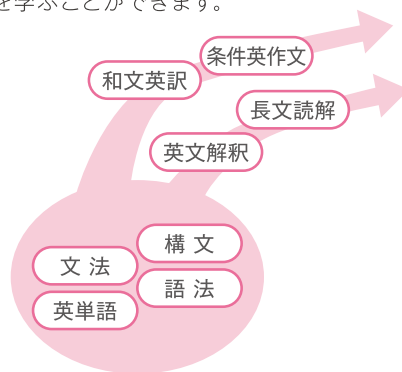
一方、まだ英語に不安がある受験生は、今のうちに語彙・文法・英文解釈を中心とした基礎固めをしておきましょう。センター試験で得点率8割をとれるようにすることが「基礎固め」の目安になります。

短期間でも集中して学習すれば、どれだけ多くのことを学べるのか。自分の限界に挑戦して「本気で勉強する」とはどういうことなのか。それを合宿で体感することで、8月以降の学習効率も大きく改善できます。

英語学習のプロセス

英語を学ぶためには、まず文法・語法・構文の知識が必要です。これはルールですから、これが身に付いていなければ英語は分かりません。そしてもちろん、英単語の知識も必要です。

英語が苦手な受験生は、まずこの4つをしっかりと学ぶことから始めましょう。この知識があつてこそ、読解・英作文を学ぶことができます。



高1・高2は英語4技能の基礎固めを

高1・高2生は、今のうちに基礎固めをしっかりとっておくことが大切です。これからの大学入試は「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を重視する方向にどんどん変わっています。

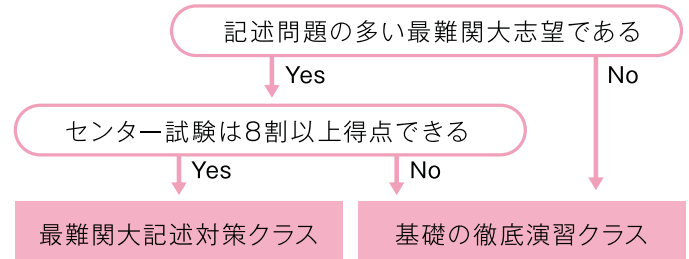
英検やTEAP、TOEFL iBT®などのスコアを入試で評価する大学も増えています。例えば英検であれば、高2のうちに少なくとも2級、できれば準1級を取得するのが理想的です。基礎固めをしつつネイティブの授業も受けられる合宿は、その対策をする絶好のチャンスです。

英語の外部検定を入試に使えるおもな大学・学部

- 早稲田大学 文化構想学部・文学部
 - 上智大学 全学部
 - 東京理科大学 経営学部（ビジネスエコノミクス学科）
 - 立教大学 全学部
 - 青山学院大学 文学部（英米文学科）、経済学部、経営学部、国際政治経済学部（国際政治学科、国際コミュニケーション学科）
 - 明治大学 政治経済学部・経営学部
 - 中央大学 法学部・経済学部・商学部・文学部
- ほか多数

志望大学・学力に応じたクラス編成

クラスには大きく分けて「最難関大記述対策クラス」「基礎の徹底演習クラス」の2タイプがあります。志望大学・学力に応じたクラス分けを行いますので、7/7(金)までに教室で実施するクラス分けテストを必ず受験してください。



1 最難関大記述対策クラス

東大・一橋大・早稲田大・慶應義塾大・国立医学部などの最難関大学を目指す生徒のためのクラスです。

このクラスでは、基礎となる文法・英文解釈を学びつつ、最難関大学の長文で出題される時事的なテーマについても学びながら、英文和訳・条件英作文などについて指導します。

時事的なテーマの学習や英作文ではネイティブによる講義・添削も受けられますので、より実践的な英語力を身に付けることができます。

※「最難関大記述対策クラス」は、センター試験の得点率8割以上、あるいは英検2級～準1級程度の学力があることを前提とした授業内容となっています。クラス分けテストの結果によっては、「基礎の徹底演習クラス」をお勧めする場合があります。

最難関大学における英作文の出題例

あなたがいま試験を受けているキャンパスに関して、気づいたことを一つ選び、それについて60～80語の英語で説明しなさい。

〈2017東京大学〉

以下の設問(A)、(B)の中から一つ選んで、問題文Ⅰ～Ⅲをもとにして、自分の意見を英語で書きなさい。

- (A) Should the Japanese government set a national minimum wage? Why, or why not?
- (B) Should the Japanese government abolish the inheritance tax? Why, or why not?

〈2017慶應義塾大(経済) 趣意〉

2 基礎の徹底演習クラス

英語の基礎を復習し、センター試験で高得点を取りたい受験生、一つひとつ基礎を確実に身に付けていきたい生徒のためのクラスです。

このクラスでは、基礎となる語彙・文法の学習を中心としながら、英文解釈や会話表現の学習をします。特に「読む」「聞く」という点については、音読を重視し、ネイティブによる指導も交えて英語を英語のまま読み、英語のまま聞くためのトレーニングをします。



高校

英語集中特訓

英語に特化した1日12時間以上の短期集中学習だからこそ、偏差値5~10アップを狙える！

Q なぜ英語だけに特化した合宿をするのですか？

A 受験生にとって大切な夏の学習効果を高め、確実に成績を上げるためです。

受験に必要なあらゆる科目の基礎固めと問題演習をしなければいけない夏だからこそ、最重要となる英語の実力をなるべく早く高めておいたほうが、受験に有利になるからです。

1日に12時間以上、寸暇を惜しんで集中的に勉強する合宿では、通常なら1ヶ月以上かかるような内容でも優にこなすことができます。たくさん内容を学ぶことができるだけでなく、反復頻度も高いので定着度も上がります。また、長時間の学習リズムを作ることができるため、長時間の学習が苦にならなくなるでしょう。

さらに、この合宿で英語の得点力をアップさせておけば、合宿から帰ってきた8月以降の学習で数学・国語・理科・社会といった他教科により多くの時間を割けるようになるというメリットがあります。

Q 合宿で成績が伸びますか？

A 伸びます。ただし、そのうえで合宿に参加した後も努力を継続することが大切です。

合宿では毎日12時間以上、集中的に勉強しますので、必ずや「これができるようになった」という成果をつかんでいただけるものと確信しています。

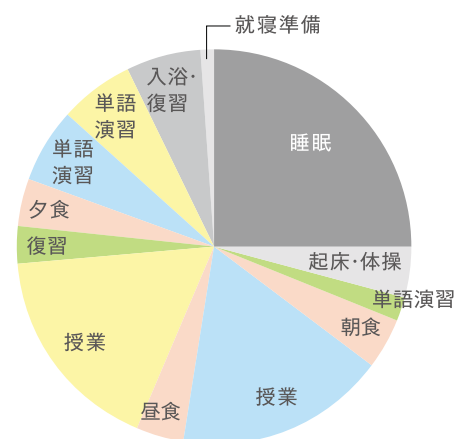
ただし、成績を上げるために何よりも大切なことは、この合宿で学んだ学習方法や時間の使い方を活かし、合宿後にも継続的に努力をすることです。そうすれば、模試の偏差値を5~10ぐらい伸ばすのはそれほど難しいことではありません。

実際、合宿をきっかけとして自分を成長させ、1年間で偏差値を10以上、中には20以上も伸ばして合格を勝ち取った先輩がたくさんいます。あなたの夢の志望校合格のために、「合格できる自分」に成長するために、ぜひ合宿にご参加ください。

おもな授業内容

クラス	授業内容
最難関大 記述対策	語彙力トレーニング 英文法総合 英文解釈 時事読解と背景学習 英作文
基礎の 徹底演習	語彙力トレーニング 基礎英文法 英文音読トレーニング 英文解釈 会話表現

合宿における一日のスケジュール



Q 英単語を覚えたりするのは苦手なのですが…

A 合宿中だけで300語以上覚えられたという生徒がたくさんいます。

確かに、英単語を覚えるのが苦手な受験生はたくさんいます。しかしきちんとやれば、英単語力は誰にでも鍛えられるものです。「覚えるのが苦手」という生徒のほとんどは、自分がどうすれば覚えられるのかを知りません。それが、ネックになっているのです。

そこでこの合宿では、その「覚え方」についても指導をしています。これを実践することで、これまでの合宿では大半の生徒が300語以上の英単語を合宿中に覚えていきます。

Q ネイティブ講師の授業もあるのですか？

A より実践的な英語を学ぶために、ネイティブ講師による授業も行います。

難関大学の入試では、時事的なテーマについての問題がよく出題されています。さらに、それについて自分の意見を英語で記述する問題もよく出題されますが、その採点はネイティブが行うというのが一般的です。そこで、「最難関大記述対策クラス」では、時事的なテーマについてネイティブから見た視点で背景解説をするとともに、英作文についてもネイティブ講師が添削・指導を行います。

また、「基礎の徹底演習クラス」では、英語を英語のまま理解できるようにするための音読トレーニングと、覚えた単語や文法、表現、例文を使い、何度もアウトプットを繰り返しながら知識の定着を図るトレーニングをネイティブ講師が担当します。また、それによって英語の4技能についてもバランス良く強化することができます。

Q 高1なのですが、参加した方がいいですか？

A 受験勉強に「遅すぎる」ことはあっても「早すぎる」ことはありません。ぜひご参加ください。

学力面でついていけるかどうか心配される方もいますが、それが問題になることはほとんどありません。学力別のクラス分けをしますし、「基礎の徹底演習クラス」では生徒の理解度に応じて基本から一つひとつ解説・演習をしますので、まず大丈夫です。

それよりも、早い時期に「本気で勉強する」という経験しておくことのメリットのほうが大きいでしょう。大学受験では、なるべく早い時期に本気で受験勉強をスタートさせることが大切です。

高1・高2という早い時期に合宿に参加することは、これから受験勉強をしていくうえで大きなメリットになるはずです。

合宿で用いる英単語集

合宿では、英単語トレーニング用の教材として、

- 英単語ターゲット1200
- 英単語ターゲット1400
- 英単語ターゲット1900

のいずれかを用います。どの英単語集を使うかは、事前に実施するクラス分けテストの結果を見たとうえでクラスごとに決めさせていただきます。

日常学習	受験準備	センター 中堅私大	国公立2次 難関私大
			英単語1900
			英単語R
		英単語1400	
	英単語1200		
英単語熟語1100			英熟語1000

▲ターゲットシリーズ(旺文社)のレベル

これからの大学受験英語

大学入試に限らず、これから日本の英語教育では「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能がすべて求められるようになっていきます。

新大学入試は中3の世代からですが、4技能で英語力を評価する英検、TEAP、GTEC等の検定を大学入試に活用しようという動きがすでに始まっています。

いずれにしても、これからは「英語ができるか」ではなく、「英語で何ができるか」が問われる時代です。グローバル化する現代にあって、英語の習得がますます重要になっていくことは間違いのないでしょう。



▲英語の4技能

コース	定員
高1～3・高卒 英語集中特訓コース	約120名